

第12回公立大学法人宮城大学教育研究審議会（平成22年3月定例会）	
開催日時	平成22年3月17日（水）14時30分～18時45分
開催場所	大和キャンパス本部棟4階 応接会議室
出席者	馬渡、白石、保理、武田、金子、大和田、池戸、桑名、大泉、鈴木、徳永、山田、西川、吉田、真覚、梶、蒔苗、加藤、坂本（21名中19名出席）
欠席者	三石、本蔵
委員以外の出席者	弓谷（三石委員代理）
事務局	小林、中村、新妻、佐々木、諸星
議事概要	<p>1 教育研究審議会議事録について</p> <p>（1）第11回審議会議事録の確認について 原案どおり全会一致で承認された。</p> <p>（2）第12回審議会議事録署名人の指名について 議事録署名人に鈴木委員が指名された。</p> <p>2 審議事項</p> <p>（1）平成22年度客員教員について 資料1 次のとおり推薦のあった客員教授12名（継続）について、全会一致により承認された。 【学部推薦】事業構想学部6名、食産業学部2名 【学長推薦】4名</p> <p>（2）ベストティーチャー賞について 資料2 「教え方」に焦点を当てた教員の表彰制度を実施する「最優秀教育者賞実施要領案」については、第9回教育研究審議会において、学務入試委員会で実施方法の詳細を検討することとされたが、同委員会の議論を踏まえ、理事会として実施が必要と判断したことから、「ベストティーチャー賞実施要領案」を作成した旨学長より説明があった。また、金子委員より、「ベストティーチャー賞実施要領案」について、賞の目的、選定組織、選定・公表手続等の説明があり、意見交換を行った結果、「事情聴取」を「意見聴取」に修正する等の文言整理を行った上で、理事会に諮ることとされた。</p> <p>（3）施設整備原案について 資料3 理事長室の施設整備計画策定作業部会において、施設整備に関する学内アンケートを実施した結果、回答のあった施設整備のうち、新棟建設や大規模改修が必要となるものについて施設整備計画素案を作成した旨、学長から説明があった。 具体的には、現状の問題として、講義室等の教育に不可欠なスペースや学生の自習スペースの不足、坪沼農場管理棟の老朽化等があげられ、解決策として、次の事項を骨子とする施設整備計画素案を作成したことが説明された。 ①大和キャンパス新棟建設：ティラ实习室、製図室、中教室、学生自習室等の整備 ②大和キャンパス本部棟・交流棟：新棟に機能が移った各室の小教室への改修等 ③大和キャンパス外溝：玄関0-列-石畳、南側駐車場壁面等の整備 ④太白キャンパス坪沼農場：教室拡張、宿泊施設整備等 ⑤太白キャンパスグラウンド 防護ネット、食産業学部道路標柱整備 本素案については、4月末までに施設整備計画としてとりまとめ、宮城県に提出予定であるので、各学部、センター等は意見があれば提出するよう学長から依頼があった。</p>

また、看護学研究科院生室のスペース不足について委員から意見があったほか、調理実習室の有効活用について提案があり、看護学部の授業で使用しない期間は事業構想学部の学生に使用させる方向で検討することとされた。

(4) 白石市との連携協定(案)について **資料 4**

「宮城大学と白石市との連携に関する協定書(案)」について、相手方の意向等により農林分野の連携協力事項となっていること、これまでの自治体との連携協力協定と異なり、協定の有効期間は3年であり、また、覚書は交わさず協定書に一本化することが西川地域連携センター長から説明された後、全会一致で承認され、理事会に諮ることとされた。また、3月30日(水)に協定の締結を予定していることが併せて説明された。

(5) 平成24年度大学入試センター試験科目について **資料 5**

平成24年度から大学入試センター試験の出題科目の選択範囲が変更されるとともに、「倫理、政治・経済」が新設されることについて武田学務入試委員長より説明があり、本学各学部の大学入試センター試験利用科目に「倫理、政治・経済」を加えることが全会一致で承認された。

(6) 履修規程の一部改正について **資料 6**

共通教育科目「音楽」の開講期変更、教育職員免許法施行規則の改正により新設される「教職実践演習」に係る科目名の整備に伴う「看護学部履修規程」及び「事業構想学部履修規程」の一部改正(案)について武田学務入試委員長より説明があり、原案のとおり、全会一致で承認された。

また、看護学研究科博士後期課程の設置に伴い、博士前期課程への履修コースの設定、研究指導教員の配置等、研究指導體制の整備、学位論文研究計画書の審査方法、博士後期課程の修了要件、博士前期課程のカリキュラム改正及び博士後期課程のカリキュラム整備等を盛り込んだ「看護学研究科履修規程」の一部改正(案)について武田学務入試委員長より説明があり、原案のとおり、全会一致で承認された。

2 報告事項

(1) 理事長・学長報告

①第17・18回理事会について **報告資料 1**

2月15日に第17回理事会(臨時会)が開催され、看護学部助教の採用について審議、決定されたことについて報告がなされた。

また、2月24日に第18回理事会(定例会)が開催され、平成22年度当初予算原案、規程の制定改廃6件、採用3件、昇任8件の教員人事等について、審議、決定が行われたことが報告された。

併せて、宮城県との相互協力協定に基づき、次のとおり、人事交流が行われる予定であることが池戸委員から報告された。

【出向】○○○○○ ○○○○
→ ○○
【入向】○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○
→ ○○○○○ ○○○

②経営審議会について **報告資料 2**

3月16日に第3回経営審議会が開催され、平成22年度予算原案、「職員の出向に関する規程」等について審議したことが報告された。予算原案については、役員に着任に伴う人件費の増、交流棟の利用促進等について意見が寄せられたほか、本学の建物構造が光熱費ロスの原因となっているとの指摘があったことが報告された。

また、「職員の出向に関する規程」について、出向時の職員の身分取扱いは、派遣、休職及び退職の3つに区分され、休職又は退職による出向の場合でも、これらの期間を勤務年数に参入する取扱いであることが説明された。

③平成22年度予算原案について

報告資料3

平成22年度予算原案の概要について、大和田委員より、次のとおり報告された。

- 【収入】・運営費交付金の前年比一約48,000千円は、人件費の減等に伴うもの。
・奨学寄附金、科研費補助金間接経費は、中期計画と同額を見込んでいる。
・合計が前年比一約200,000千円であるのは、昨年度の地域振興事業部設置に係る寄附金分であり、これを除くと前年並み

- 【支出】・学部経費、研究科経費は、2/3を均等割で、1/3を学生割で配分
・兼業納付寄附金等を原資に「教育研究環境整備」約11,000千円を計上
・法人固有職員の増加に伴い「事務職員研修経費」約1,000千円を計上
・「エコキャンパス推進費」としてピオトープの設置、管理費1,500千円を計上

本予算原案については、3月1日に各予算責任者に内示しており、支出予算要求書の提出を経て、次回理事会に平成22年度予算として諮る予定であることが説明された。また、予算の配分については、収入状況により変更があり得るが、四半期毎に次のとおり予定している旨説明があった。

【平成22年度】 教育費 8：0：2：0
研究費 10：0：0：0
その他 5：0：5：0

【平成21年度】※参考 3：2：2：3

④平成22年度入試・入学、平成21年度卒業・修了・就職状況について

報告資料4

3月15日現在の平成22年度入試の実施状況及び入学手続状況について武田委員から、同卒業予定者及び修了予定者の内定状況について徳永学生部長より、資料等に基づき報告された。

卒業予定者の内定状況について、看護学部97.9%、事業構想学部93.9%は共に過去最高水準にあり、92.4%の食産業学部ではフードビジネス学科が昨年に続き100%を達成するなど、全体で94.6%と追い込みをかけた成果が出ていることが日原キャリア開発室長のコメントとして紹介された。

なお、就職内定率の算出方法について、本学で通常使用している文部科学省の算出方式とマスコミが使用する算出方式では、分母の取扱いが次のとおり異なることから、整理しておくよう学長から指示があった。

【文部科学省】卒業予定者一（進学者+留学者+資格試験受験+社会人職場復帰等）

【マスコミ】卒業予定者一進学者

⑤平成22年度全学各種委員会委員について

報告資料5

人事異動、新委員の選任に伴う法人の会議構成員、全学委員会委員の変更について、資料に基づき報告された。

⑥学習奨励基金平成22年度実施事業について

報告資料6

平成22年度の学習奨励基金は13,000千円の収入を見込んでおり、うち5,000千円を基金に積み立てし、残りの8,000千円について、支援プログラムに7,000千円、事務費1,000に支出する計画であることが大和田委員より報告がなされ、併せて、平成21年度の学習支援プログラムの実施状況について説明された。

委員より、支援プログラムの利用は学生1人当たり1回をルールとすべきではないかとの意見があり、今後、状況を見ながら判断することとされたほか、看護学部の学生はカリキュラムとの関係から支援プログラムを利用しにくいとの意見があり、単位認定と関連付けが可能な新たな制度を看護学部において検討することとされた。

⑦研究費について

報告資料7

平成22年度研究費について、一般研究費135件、指定研究費35件の申請がなされ、産業化プロジェクト研究費に4課題がノミネートされていること、指定研究費は予算額の2倍となっていること等が金子委員から報告された。また、研究費の配分について、平成22年度は、4月1日から研究活動を開始できるようにするた

め、同日に仮配分を行い、各教員の研究費が確定する4月下旬に残り全額を配分する予定であることが説明された。

⑨University Goods開発について

報告資料8

国内外から本学を来訪する賓客に贈呈する記念品、オープンキャンパス時に高校生に配布するグッズ等の開発について、理事長室ミーティングにおいて、在学生のアイデア等も活用しながら検討していることが報告された。

⑩地域再生人材養成JSTプログラム申請について

報告資料9(回覧)

宮城県との連携のもと、3月15日に地域再生人材養成JSTプログラムの申請を行ったことが池戸委員より報告され、申請書が回覧された。同プログラムは、県が地域再生計画を策定することに特徴があり、プログラム事業には、看護学部、事業構想学部の教員も関係している旨、説明された。

⑪認定看護師スクール検討委員会報告について

報告資料10

宮城県からの委託により運営してきた認定看護師スクールについて、県の事業が終了する平成23年度以降、法人の独自事業としてスクール運営を継続するか否かを検討してきた認定看護師スクール検討委員会の検討結果が同委員会委員長である白石委員より報告された。

検討委員会では、スクールの概要、出願者の推移、収支状況等、認定看護師スクールの現状について分析を行った上で、継続の可否の判断基準となる独立採算を可能とするため課題となる国庫補助受給、授業料の引上げ、事業費の圧縮、事業規模の縮小が検討されたが、国庫補助は前提とできず、また、事業費の圧縮等を行った場合でも専任教員2人の人件費を確保することは困難であること等から、法人としてスクール運営を継続することは困難との結論に至ったことが報告された。

認定看護師スクール長である徳永委員より、あと2年程度、運営を続けられればとの意見があり、委員から2、3年程度の存続を前提に資金協力の得られる支援先を探してはどうかとの意見があり、関係団体等に協力を依頼し、5月の理事会までにスクール運営の継続に関する結論を出すこととなった。

⑫その他

・平成21年度実績報告、平成22年度年度計画について

各学部・研究科・センター等から提出された平成21年度実績報告について理事長室ミーティングにおいて確認したところであり、今後、総括的な事項について記載した上で、6月末までに宮城県に提出する予定であることが報告された。

平成22年度の年度計画について、最終の提出期限を3月26日とするので、遺漏なく提出するよう重ねて指示があった。

・学長候補者の推薦について

3月16日に初めての学長選考会議が開催され、次期学長の選考に係る公示がホームページでなされたほか、本審議会あて、6月16日までに次期学長候補者(2名以内)を推薦するよう依頼があったので、4月の審議会において候補者の選出方法を審議する予定であることが説明された。

(2) 教授会審議状況報告

①看護学部(桑名学部長)

報告資料11

3月3日に第8回定例教授会を開催し、4年生の後期成績判定及び卒業判定、平成22年度全学委員会委員及び学部専門委員会の構成、平成24年度大学入試センター試験利用教科・科目、「看護技術論」担当教員の変更等について審議を行ったことが報告された。

また、3月15日に第9回臨時教授会を開催し、1年生から3年生までの後期成績判定及び進級判定、「産業保健論」担当教員の変更等について審議を行ったことが報告された。

②事業構想学部(大泉学部長)

報告資料12

3月2日に第7回臨時教授会を開催し、卒業判定について審議を行い、事業計画

学科106名、デザイン情報学科101名、計207名の卒業を認定したことが報告された。

また、3月10日に第8回定例教授会を開催し、平成22年度の客員教授、同学部及び全学委員会案、平成24年度大学入試センター試験利用教科・科目、進級判定及び後期成績確認、平成22年度非常勤講師任用、同時間割、同転学科、履修規程の改正、平成22年度研究生、同前期科目等履修生等について審議を行ったことが報告された。

③食産業学部（池戸学部長）

報告資料13

3月2日に第10回臨時教授会を開催し、卒業認定について審議したほか、次年度の非常勤講師任用について報告がなされたことが報告された。

また、3月10日に第11回定例教授会を開催し、後期成績確認、平成22年度前期科目等履修生、同非常勤講師、学生の身分、県産業技術総合センターとの人事交流、平成22年度委員会構成、同客員教授等について審議を行ったことが報告された。

④看護学研究科（武田研究科長）

報告資料14

3月10日に定例教授会を開催し、博士後期課程の設置に伴う学則の改正、平成21年度計画の進行管理及び自己評価、平成22年度全学委員等の委員案の確認、後期成績判定、平成22年度履修ガイド等について審議したことが報告された。

⑤事業構想学研究科（金子研究科長）

報告資料15

3月2日に第7回臨時教授会を開催し、学位（修士）授与及び修了判定について審議したことが報告された。

また、3月10日に第8回定例教授会を開催し、後期成績判定、平成22年度領域毎の特別講義及び非常勤講師任用、同時間割、同科目別担当予定者、同入学生の指導教員、博士論文審査基準及び審査スケジュール等について審議を行ったことが報告された。

⑥食産業学研究科（鈴木研究科長）

報告資料16

3月10日に定例教授会を開催し、後期成績確認等、学生の身分（休職及び退学）について審議を行ったこと、また、現在、1領域4分野を予定している博士課程の設置に係る準備状況について報告がなされたことが報告された。

(3) 学内委員会等報告について

①評価委員会（馬渡学長）

報告資料17

2月24日に評価委員会を開催し、看護学研究科の授業を担当する教員の資格審査、Best teacher賞について審議したことが報告された。

②学務入試委員会（武田委員長）

報告資料18

3月3日に学務入試委員会を開催し、看護学研究科博士課程の設置に伴う学則改正、年度計画評価、平成23年度入試の試験時間、平成24年度大学入試センター試験の利用教科・科目について審査したことが報告された。

馬渡学長より、入試問題に出題ミスがあったことから、作題マニュアルを作成中である旨説明があったほか、試験問題の印刷について意見交換が行われた。

③学生生活委員会（徳永委員長）

報告資料4

※ 理事長・学長報告④として報告

④研究委員会（金子委員長）

報告資料19

2月24日に研究委員会を開催し、平成22年度国際学会等発表旅費申請の手法更新について審議し、プレエントリー制度を導入することとされたこと、また、同旅費を使用した学会等に参加し、滞在期間を延長して自主研修を行う場合の取扱い等について審議したことが報告された。

⑤共通教育運営委員会（武田委員長）

報告資料20

3月10日に共通教育運営委員会を開催し、英語の非常勤講師の確定に伴う平成22年度の共通教育科目担当教員、英語Ⅱ再履修クラスの編成、これらに伴う平成22年度時間割の変更、平成22年度計画、同全学委員会委員の構成について審議

したことが報告された。

⑥総合情報センター運営委員会（山田委員長）

報告資料21

3月17日に第11回総合情報センター運営委員会を開催し、施設整備計画、平成21年度計画実績報告・平成22年度計画策定、「研究費購入図書の見直しについて」の改訂、学内教員あて図書寄贈のお願い等について審議したことが報告された。

⑦国際センター運営委員会（弓谷副センター長）

報告資料22

2月24日に国際センター運営委員会を開催し、カセットテープのデジタル化、太白キャンパスへの移管等、自習室教材の活用、3月24日に予定されるフィンランド・セミナーの開催等について審議したことが報告された。

また、馬渡学長より、本学が交流協定を締結しているピルカンマ大学がタンペレ応用科学大学に統合されることに伴い、協定の再締結が必要となっており、8月下旬に学長、国際センター長等が相手方を訪問予定であること、また、共同シンポジウム開催のため、看護学部長又は副学部長、教員3、4名の同行を予定していることが報告された。

⑧地域連携センター運営委員会（西川委員長）

報告資料23

3月16日に地域連携センター運営委員会を開催し、本日の議題となった白石市との連携協定について審議したこと、平成21年度の出前講座等に延べ4,202名が参加したこと、3月6・7日に開催された看護学部公開講座に87名が参加したことについて報告がなされたこと等が報告された。

この議事録は、公立大学法人宮城大学第12回教育研究審議会議事録である。

平成22年4月21日

公立大学法人宮城大学教育研究審議会 議長 馬 渡 尚 憲

議事録署名人 池 戸 重 信